

2

わかりやすく やさしく 便利に

特徴点ハイライト

●カーソルを近づけると特徴点タイプをハイライト。関連要素もハイライトします。

●大きな(1.5倍)アイコン切替

●座標 X値とY値の間はカンマ(,)でもスペース“ ”でもOKです。

新入力: 100,20
始点を指定してください

新入力: 50 40.5
終点を指定してください

3

トリム作業を大幅に簡略化

直線、円弧、一周円を
削除、トリム、切断、延長
強力な5つのツールに即アクセス

トリムの事例

1回クリック

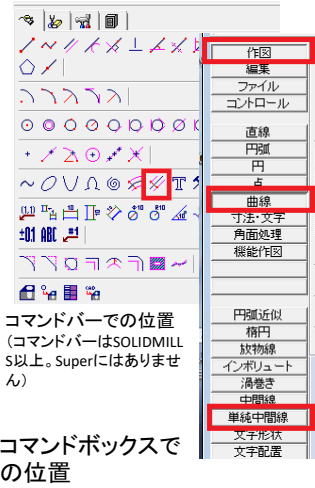
3回クリック

3回クリック

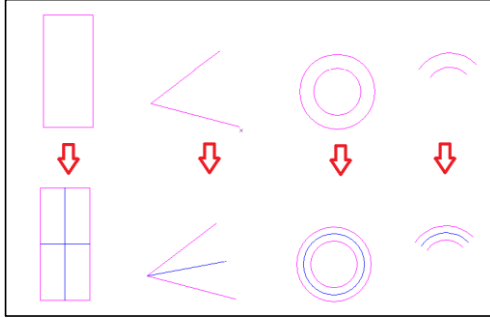
要素・位置指定での
クリック回数

4

単純中間線など新規コマンドを追加



●直線、円・円弧(同心円)の中間線を作成します。



●一要素削除、角丸め、一要素オフセットなど新機能や既存機能の改良をすすめています。

5

CAMデータとCADデータの新しい関係

😊 CADデータ (.PAR)
CAMデータ (.MCD)

- CAMデータと、CAMに関連付けられたCADデータを同じフォルダに置けるように設計変更されました。
(プロジェクトで管理していた旧データ形式もCAMデータ変換を行うことでこのルールが適用可能)
- 前回開いたCAMディレクトリを開くよう設定可能

6

標準で2タイプの加工指示書を搭載

加工名	加工条件	加工速度	加工時間	加工量	加工コスト	加工順序	加工優先度	加工完了日
1	粗削り	10	1	0	0.000	-16.800		
2	輪郭-条件上げ	10	2	0	0.000	-16.800		
3	輪郭-条件上げ	10	2	0	0.000	-16.800		
4	輪郭-条件上げ	10	2	0	0.000	-16.800		
5	輪郭-条件上げ	10	2	0	0.000	-16.800		

●標準で2タイプの加工指示書が工程編集画面から作成できます。
カスタマイズも可能です。
※この機能はPCにMicrosoft社のExcelが必要です。

7

CAM機能の強化項目(事例)

CAM共通

工具管理と切削条件設定の機能を強化。工具・ホルダ・機械・加工材質・加工方法を登録可能にしました。工具表出力で工具の順序を、「工具番号順」と「工程順」で切り替えられる「CAD登録一括」コマンドを新設しました。
印刷および印刷プレビューの範囲を、枠内で指定できるようになりました。
「φ」「漢字」が含まれている工具名、工具種別を設定できるようになりました。

穴加工CAM

工程編集で、工程の複写が行えるようになりました。指示書出力機能を拡充しました。
オプションサイクル機能を拡張。新しいコードに対応。キャンセルコードを詳細に定義。オプションサイクル定義をマクロに記述。タップ加工の切削条件を柔軟に設定。

2軸CAM

ヘリカル加工ができるようになりました。
ボール工具／ラディアス工具を選択しても、Z切削範囲の値が変化しないように仕様変更。
NCデータの最小出力単位を0.0001まで指定可能に変更。

ワイヤCAM

コアレス加工から仕上げ加工への移動改善しました。
L字型アプローチ機能を新設しました。
工程編集画面で下穴位置の座標表示できるようにしました。

8

基本仕様

対応OS

Windows10 Professional(32,推奨64)
Windows7 Professional(32,推奨64)
(Windows8.1では動作保証しません。また、WindowsXpでは動作しません。)

対応DXF/DWGバージョン

→AutoCAD2016相当まで変換可能。バージョン変換機能搭載

対応MYPACデータ FDA,FDB,FDC,FDD

～FDG(対応予定)

プロテクトキーはUSBタイプのみ対応。(パラレルポートタイプはUSBタイプへの交換が必要です)